



木もれびの森の樹木(26)

春は緑がきれいな季節です。新緑の時期は森の木々の種類ごとに様々な色、輝きを持ち、日ごとに変化していきます。

落葉樹の若葉はやや黄色がかった萌黄色に、針葉樹は相対的に黒っぽく見えます。そして微妙に異なる色が幾重にも重なり森全体を飾ります。落葉樹の若葉の変遷と展開が終わるとそのあとに常緑樹の新芽が目立ち始め、光沢のある新緑の葉を展開し終えるころには落葉樹の若葉は深緑に落ちついて色の変化を見せなくなります。

古来、新緑の色は多くの言い方があるようです。浅緑、薄緑、萌黄色、薄萌黄、柳色、若葉色、若緑、若竹色等々、二十種類以上もの色があるそうです。若葉の微妙な色彩の変化を区別してきた日本人の感性は素晴らしいと思います。

前号に引き続き、23号で紹介した低木のうち**ツルグミ**と**サンショウ**です。

ツルグミはグミ科グミ属でつる性の常緑低木。ほかの樹木に寄りかかるようにして長く伸び、高さ2~3mになります。葉は互生、長さ4~8cmの長楕円形、花は10月~11月、淡褐色の花が数個垂れ下がってきます。実は長さ1.5cm、長楕円形で、4月に赤く熟しますが、青いうちに落ちてしまうことが多い。



ツルグミ

サンショウはミカン科サンショウ属。落葉低木、下刈り前の森の所々に生えています。樹皮は灰褐色、棘やいぼ状突起があります。葉は互生、長さ5~18cmで奇数羽状複葉。若葉は薬味としてや和え物などに利用され、若い実は実山椒として佃煮にします。熟した実を粉末したものが粉山椒です。サンショウは棘が対生ですが、類似のイヌザンショウは互生状につき葉や実に香りが少ないので区別がつかます。(林)



サンショウ (右下はイヌザンショウ)

木もれびの森の野鳥たち 6月

<夏鳥のさえずりから巣立ちビナのにぎわいへと>

台風でダメージを受けた森も、今年は一気に緑を吹き出し、どこも美しい若葉色に染まりました。そんな中、4月半ばから5月にかけて南の国から夏鳥の立ち寄りが続きました。

4月13日の**キビタキ**のさえずりに始まり、続いて**センダイムシクイ**が若葉の茂る中で忙しく虫探し、ときどき「チョッチョッピー」とさえずりを。移動途中の冬鳥アカハラの群れも仲間入り、ヤブの多い林で何日も「キョロン、キョロン、ツリー」とのびやかなさえずりを聞かせてくれました。5月に入って、歌の名手**オオルリ**が3羽で入り、**エゾムシクイ**は高い声で「ヒーツーキー」とさえずりに加わり、この季節ならではの高原気分となりました。



オオルリ

少し遅れてホトギスがやってきて「特許許可局」と鳴き、夏への季節の変わり目を教えてくれました。

一方、留鳥の**コゲラ**や**シジュウカラ**・**メジロ**たちは着々と繁殖活動に入り、巣作り・抱卵・ヒナへの食べ物運びと忙しさが続きます。メジロはヒナの待つ茂みの中に一直線に飛び込み、シジュウカラは住宅難か？道路際の朽ちた外灯の支柱の中へ虫をくわえて入り、白く丸いヒナの糞をくわえて飛び出していきました。

6・7月は、木もれびの森がヒナの巣立ちでにぎわい、親に食べ物をねだるヒナたちのかわいい声が響きます。一段落すると2回目の繁殖に入る親たちもいて、まだまだ親鳥の奮闘が続きます。

繁殖のこの時期、森のどこかで子育て中の親子に出会ったら、近寄りすぎずそっと見守ってください。(瀬尾)

木もれびの森の毒草

ヒガンバナ ヒガンバナ科ヒガンバナ属 多年草 原産地は中国

誤食した場合に呼吸不全、痙攣、嘔吐、下痢など。花茎の汁に触れた場合に皮膚炎。

照りつける日差しの下での田んぼの畦や、薄暗い墓地に赤い花を豪華に咲かせる彼岸花。子供の頃には何か怪しく思えて、葉の無い花だけの茎を棒の切れ端で叩き折り遊んだことを思い出します。

全草有毒で特に球根に毒が多く、田を荒らすモグラやねずみが忌避するように田の畦に、また遺体が小動物に食害されないように墓地に植えられたと言われています。昔は公園や庭などでは見られなかったと記憶していますが、今は群生した状態で見られるようになっています。

日本の彼岸花は種子では繁殖できない三倍体であるため、もっぱら分球により子孫を増やします。従って新しい場所で繁殖するには土砂の流失などによる自然的な移動や人為的移植が考えられます。彼岸花には白色や黄色の花の株も見られますが、結実しないのに何故赤花以外の花色が出来たのでしょうか。



この森で種らしい(子房)実をつけた株を見かけ、その結実した姿を確かめようと、後日確認に行きましたが種をつけた姿は見られませんでした。他の場所でも何度か同様の経験をしていますので若い実のうちに朽ちてしまうのでしょうか。花季は9～10月。花の後すぐに葉を出して周りの草木が葉を落とした時期に太陽の光を独占して、次の年の開花と分球にそなえます。(岩田)

